

2019 年度 第 4 回 J S R 編集委員会 (小委員会) 議事録

日時：2019 年 6 月 6 日 (木) 12:00～14:00

場所：ザ・リッツカールトン京都 KANZAN

出席：長谷川和宏 (担当理事)、川口善治 (委員長) (以上、2 名)

陪席：杏林舎：片山氏、明松氏、真鍋氏 事務局：鈴木 (以上、4 名)

『JSR』学会誌完全電子化に伴う査読システム導入について、また今後の編集方針の骨子を固めるために、担当理事・委員長および担当業者にて以下の議事を検討した。

議題 1 査読手配の件

杏林舎の査読システム ScholarOne については、英文誌 SSRR ですでに同一システムを導入しているため、それとの違いを中心に確認し、基本的には SSRR に準じることになった。ただし、査読手配については以下のようにすることになった。

1) DE について

JSR ではいままではすべての査読手配を編集委員長が行っていたが、今後は SSRR に準じて、DE を 3 名委員会内で任命することになった。その人選は、他の 7 学会の代表者ではない 3 名 (鈴木委員・高畑委員・大島委員) とすることとし、川口委員長から声掛けを行うことになった。

2) 査読者について

査読者についてもなるべく SSRR に準じることとする。SSRR の査読者は学会評議員全員であるため、今後の JSR の査読者についても評議員全員と、また従来の JSR 独自の査読者のなかで評議員になっていない先生についても、引き続き査読者として登用する。評議員のリストは SSRR 用にすでに杏林舎へ渡っているため、JSR 独自の査読者リストを川口委員長から杏林舎へ送ることになった。

議題 2 画面の確認

ScholarOne の操作は SSRR と同一なので、画面確認を重点的に行った。

1) Figure のアップロード形式

PDF や jpeg、その他でも特に問題ないことを確認した。

2) SSRR で設けている「カテゴリー設定」について

査読者選定のためにもやったほうがよいとの見解となり、「頸椎・腰椎・胸椎・仙骨・その他」とすることになった。

3) 共著者登録時のアカウントの扱い

共著者もアカウント作成のためにメールアドレス登録が必要であるが、論文代表者以外は

学会員であることを問わないことになった。

4) 関連学会会員の ScholarOne への投稿について

従来の投稿規程に記載されていた「関連学会会員の投稿可」との件については、ScholarOne 導入後は JSSR 会員のみとする。理由としては、ScholarOne へ投稿される原稿は、JSSR 特集号(1.2.5.9号)へ掲載希望の原稿のみであるためである。SSRR 同様に会員リストの一部を毎月編集事務局が取り寄せ、投稿があるごとに会員照合することになった。

5) 著作権譲渡の確認書類と COI の書類は提出

従来通り必須とする。

6) 二重投稿禁止の表示

二重投稿禁止については、注意喚起も含めてタイトルと付記の選択の両方に表示する。付記の下に「倫理規定を順守している」というような項目を作り、投稿時に著者にチェックを入れさせるようにする。

7) 論文種別の件

著者がチェックする際の「論文種別」には、テクニカルノートと二次出版を加える。画面に表示される順序としては、「原著・総説・症例報告・テクニカルノート・二次出版」とする。

8) アブストラクトの構造化について

JSR に掲載された論文は、アブストラクトが構造化されているものされていないものとバラバラであるとの指摘があり、今後は SSRR 同様に投稿時に著者のほうで構造化するようにシステム設定することになった。

9) アブストラクト・キーワード・タイトルについて外部英文校正を行うか

次回委員会で審議することになった。

議題 3 査読の進行について

査読フォームや文面は SSRR に沿っているため、主に以下を確認した。

1) 査読返信期限

SSRR と同じ 14 日間でよいかを検討し、同様とすることになった。

2) 査読督促期限

査読催促の間隔については SSRR (1 週間後と期限の日である二週間後) より少しゆるめて二週間後に変更する。

議題 4 投稿規程について

現状の規程からの修正点を確認した。

1) テクニカルノートについての規定

現状はテクニカルノートについての条件等がないため、症例報告と一緒にする。

2) 文字数その他

文字数はいままでどおりとするが、図表については文字数から除くこととする。

3) 二次出版掲載についての決定権

「編集委員会」が許可した二次出版とする。基本的には編集委員長が決済する予定であるが、その旨を編集委員会内で周知し、もし編集委員長が委員会に諮る必要があると判断する事例については委員会で検討する。

4) JSR への英文論文があった場合

現状の JSR は和文・英文どちらの言語でも投稿可能な雑誌と位置付けられているが、英文論文専門のオフィシャルジャーナル SSRR が創刊されているため、今後 JSR への英文論文の投稿についてどうするかを検討した。住み分けを明確にするためにも、JSR は和文のみとすることで理事会・委員会で報告のうえ、SSRR 委員会へも報告することになった。

J-STAGE へは掲載に当たり、言語指定をする必要があるが、JSR は和文誌であるとして申請することになった。

議題 5 投稿者の会員確認の件

従来投稿規定には、投稿者は会員であるというような記載があるが、杏林舎が現在 JSR の編集を担当している編集分室に確認したところ、実際には会員確認は行われていなかったとのことから、今後の会員確認をどうするかについて検討した。

議題 2-3)・4) と絡んで、「論文代表者」が会員であるかを確認し、それ以外は会員資格を問わないことになった。

議題 6 編集事務局開始時期について

7月初旬から ScholarOne のシステムは利用可能になるが、杏林舎での編集事務局としての業務はいつから開始するかについて検討した。

次回の理事会が 7/11 のため、それ以降からとして 7月下旬からスタートとすることになった。

それまでに、議題 1-2) の査読者リストの完成(システム搭載)および川口委員長の確認を行いつつ、本日の会議で修正となった部分を杏林舎のほうでシステム修正することになった。

議題 7 WEB サイトデザインについて

サイトデザインについては、「元に戻る」ボタンを設置する以外、杏林舎の案に特に修正はなかった。

1) トップ画面について

トップ画面に Editor's choice または SSRR と同様に current issue とするかについても検討し、current issue とすることになった。

2) アクセス制限について

現在の JSR は会員限定となっており、ID・PW を入力して特設の頁に入り閲覧する形式で

あるが、今後をどうするか検討した。多くの引用をしてほしいために SSRR はオープンアクセスであるが、JSR は会員特典の面があるため、次回編集委員会議題として検討することになった。

3) ドメインについて

杏林舎が数案上げた中 (jp、com、org)、「jp」とすることになった。

4) レンタルサーバーの契約について

年間 12 万円かかることを確認した。

5) 文字およびレイアウト

杏林舎のデザイン案の通り、ブラッシュアップしたバージョンに変更することになった。

6) 参考文献への外部リンク

現状の WEB 雑誌頁では、参考文献をすぐに閲覧できるように掲載された論文すべての参考文献一つ一つに閲覧用のリンクが張られているが、今後もこれを継続するかについて検討した。継続する方向で杏林舎に見積依頼をした。

7) COI の明示について

COI についての掲載箇所は、SSRR 同様に文献の前とすることになった。

議題 8 その他

1) 別刷について

著者各自が各自の論文について PDF でダウンロード可能のため、1 月号からの別刷進呈は行わないことになった。そのため、現在すでに現投稿規定に沿って別刷部数の希望を記載してきている著者に対しては、1 月号から発刊分からの別刷進呈はないことを杏林舎編集局から伝える。

2) JSR 完全電子化および投稿規程の変更についての会員告知について

電子化案内は、優秀論文賞告知と一緒に 1 枚のチラシとして川口委員長が作成し、でき次第なるべく早い号の JSR に同封することになった。新投稿規定についても JSR に新投稿規定として掲載するとともに、他の方法でも告知を行う (HP に修正版を掲載、JSR の前付頁で告知など検討)。

3) 3号 (抄録集) の判型

今後の 3 号の判型について、現在 B 5 版となっているが掲載する論文 PDF は A 4 版で作成されるとのことから検討し、現状の B 5 版のままとすることになった。

4) 3号 (抄録集) の発送

杏林舎で行うことを前提に、3 号のみ発送する業務の見積を依頼した。

以上

【次回委員会審議・報告事項】

アブストラクト・キーワード・タイトルについて外部英文校正を行うか（審議）

現在は会員のみ閲覧可能となっているアクセス制限をどうするか（審議）

JSR への投稿は和文のみとする（報告）

【理事会・SSRR 編集委員会報告事項】

JSR への投稿は和文のみとする（報告）

以上の 〃 は委員会審議後理事会審議または報告